

# 令和4年第3回東大和市議会建設環境委員会記録

令和4年9月14日（水曜日）

---

## 出席委員（7名）

委員長	木下富雄君	副委員長	荒幡伸一君
委員	二宮由子君	委員	尾崎利一君
委員	森田博之君	委員	関田正民君
委員	大川元君		

## 欠席委員（なし）

## 委員外議員（なし）

## 議会事務局職員（3名）

事務局長	鈴木尚君	事務局次長	嶋田淳君
主任	関口百合子君		

## 出席説明員（3名）

副市長	小島昇公君	まちづくり部長	田辺康弘君
道路交通課長	一ツ木正美君		

## 会議に付した案件

- (1) 第56号議案 市道路線の認定について
- (2) 第57号議案 市道路線の廃止について
- (3) 所管事務調査

東大和の特産品による産業の活性化について

午前 9時29分 開議

○委員長（木下富雄君） ただいまから令和4年第3回東大和市議会建設環境委員会を開会いたします。

---

○委員長（木下富雄君） 初めに、第56号議案 市道路線の認定について、第57号議案 市道路線の廃止について、以上2議案を一括議題に供します。

お諮りいたします。

以上2議案の審査に先立ち、これより現地視察を行いたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（木下富雄君） 御異議ないものと認め、さよう決めます。

それでは、これより現地視察を行います。

〔 現地視察 〕

午前 9時30分 出発

---

午前10時24分 帰庁・再開

○委員長（木下富雄君） ただいま現地視察により路線の状況を確認いたしましたので、これより審査を行います。

2議案につきましては、既に本会議において提案理由の説明が終了しておりますので、直ちに質疑を行います。

○委員（尾崎利一君） 第56号議案のほうですけれども、ああいう開発が行われれば道路をこういうふうにつけなくちゃいけないというのは、致し方ないと思うんですけど、ここは北側の道路も南側の道路も、私も通るときはかなり気を遣う道路、交通量もそれなりに多くて、それで道幅も狭いという状況ですので、これは質疑というより要望ですけども、警察とも協力して、交通安全上の対策を十分取っていただきたいというふうに思います。

以上です。

○委員長（木下富雄君） 質疑を終了して御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（木下富雄君） 御異議ないものと認め、質疑を終了いたします。

これより自由討議を行います。

〔発言する者なし〕

○委員長（木下富雄君） 自由討議を終了して御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（木下富雄君） 御異議ないものと認め、自由討議を終了いたします。

討論を行います。

〔発言する者なし〕

○委員長（木下富雄君） 討論を終了して御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（木下富雄君） 御異議ないものと認め、討論を終了いたします。

採決いたします。

第56号議案 市道路線の認定について、本案を原案どおり可決と決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（木下富雄君） 御異議ないものと認め、よって本案を原案どおり可決と決します。

---

○委員長（木下富雄君） 採決いたします。

第57号議案 市道路線の廃止について、本案を原案どおり可決と決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（木下富雄君） 御異議ないものと認め、よって本案を原案どおり可決いたします。

ここで、説明員退室のため暫時休憩いたします。

午前10時26分 休憩

---

午前10時27分 開議

○委員長（木下富雄君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

---

○委員長（木下富雄君） 次に、所管事務調査、東大和の特産品による産業の活性化について、本件を議題に供します。

7月27日に、所沢市へ、所沢ブランド特産品認定制度について視察を行いました。本日は、視察内容について御意見、御感想等を御発言いただきたいと思います。

皆様、何か御意見、御感想等ございましたら、よろしく願いいたします。

○委員（荒幡伸一君） 私、この視察に行くことができなかつたんですけども、非常に残念だなというふうに思っておりますけども、資料を頂きまして読ませていただくと、やはりこの2020年にところざわサクラタウンがオープンする点、また、東京オリンピック・パラリンピックの開催、これが好機だということで準備を重ねていったということで、平成28年から準備をしてやってきたってということで、かなりやっぱり準備に日数が要するんだなというところを非常に見て感じました。

以上でございます。

○委員長（木下富雄君） ありがとうございます。

○委員（二宮由子君） 今回の所沢ブランドの特産品創出の支援事業についてなんですけれども、非常に学び多い視察であったというふうに思っております。といいますのも、まずちょっと一つ残念だなと思うのは、もう5年たっていっちゃるということで、この制度というか、この所沢の特産品について知っていっちゃるとい市民の方が40%いたにもかかわらず、買ったことがあるというのは9.9%とって非常に何かこう少ないのが非常に残念だなというふうに思っております。それも説明の中では、これから先どのようにPRしていくかということもおっしゃっていたと思うので、これから期待するところでもあります。

立ち上げるまでに非常に時間もかけて、じっくりと研究を続けながら立ち上げていらして、最後に寄りましたYOT-TOKOですか、そういった販売の拠点みたいなのもあるところも非常に参考になりました。

1つ私が質疑をさせていただいた、要するにそこで食べるとかそういうものではなくて、持ち帰ってどなたかに差し上げるというところに特化しているということでしたので、もう少し販路を広げても、販路というか、

もう少し特産品というブランドに対して幅広くしてもいいのかなというふうには思いました。感想です。

以上です。

○委員長（木下富雄君） ほかに他の委員の皆様から何かございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

○委員長（木下富雄君） ただいま皆様からいただきました所沢市の視察内容についての御意見と、また、実際皆さんと共に見た内容等につきましては、所管事務調査、東大和の特産品による産業の活性化についての報告書に反映させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

次に、今後の進め方についてですが、正副委員長で調整した結果、所沢市以外の自治体の状況について視察を行いたいと考えております。このことについて、私のほうから皆様にメールでも差し上げましたが、御意見等ございましたら御発言をお願いしたいと思います。

○委員（尾崎利一君） 私、あまり明るくはないんですけど、どっかいいところはないかとちょっと見ましたけど、清瀬市で屋上で蜂蜜を作って、今年は猛暑で大分生産量が減っているということですけど、これを返礼品にもしていたり、民間事業者とコラボしてマドレーヌとか、ほかにも何か使っているようですけども、そういうこともやっていたり、あとニンジンジュースですか、これも両方ともコンビニなどでも売っているというような話もちょっと聞いていますので、近場で清瀬市辺りどうかなとちょっと思いました。

○委員長（木下富雄君） ありがとうございます。

ほかに何かありますでしょうか。

○委員（荒幡伸一君） 私、2か所ちょっとピックアップをさせていただいたんですけども、まず1か所目が千葉県の上野市で、2か所目が茨城県の阿見町なんですけども、上野市に関しましては、本市と同じように梨が名物で特産品として扱われているんですけども、梨をブランド化して、この梨をサントリーとコラボしていちほら梨サイダーというのを作ったり、いちほら梨ハイボールを作って販路を広げているというようなことをやっております、非常に参考になるんじゃないのかなというふうに思いました。

また、いちほら国府ブランドというのも立ち上げて、様々ないろいろなものをブランド化して、また商品にして、限定商品として販売しているというようなところもありまして、参考になるのかなというふうに思いました。

また、阿見町のほうは、これは町長の政策公約として、観光資源の発掘と特産品の開発というのを掲げているところから、各種特産品の開発に取り組んでいるということで、茨城県はお米が有名なので、阿見町産のコシヒカリを使用したパックご飯というのを加工して作ったりだとか、様々な取り組まれているので、こちらも非常に参考になるのかなというふうに思いました。

以上でございます。

○委員長（木下富雄君） ありがとうございます。

ほかに。

○委員（二宮由子君） 私は、特産品という観点から少し幅を広げて、先ほど申し上げましたその販売の販路を広げる、販売拠点というんでしょうか、そういったことも視察の項目に入れてもいいのかなというふうに思っています、御提案なんですけれども、千葉県の鋸南町というところに、皆さん、タブレットをお持ちの方は農林水産省のホームページにありますので、農林水産省廃校再生というふうに入れていただくと出てくると思うんですけど、道の駅保田小学校というのが、都市交流施設として農林水産省のホームページにも載っています。

何かというと、廃校、当市でもこれから先、統廃合計画がありまして、いろんな観点から学校をどのように生かすかということを含めて、建設環境委員会として、都市交流施設としての視点で視察に行くのもいいかなというふうに思っております。

ホームページを見ていただくと内容がよく分かるんですが、ちょっと場所が都心からアクアライン経由で1時間半弱という、ちょっと遠いんですけど、多分当市から行くと2時間半弱ぐらいかかるのかなと思いますが、体育館を直売所にされたりとか、あと校舎を宿泊施設だとかレストランにしたりとか、いろんな点で視察、ちょっと幅広い、特産品からはもう少し幅広い観点ではありますけれども、視察に行ってもいいのかなというふうに思いました。

以上です。

○委員長（木下富雄君） ありがとうございます。

ほかに。

○委員（森田博之君） 私も、委員長からどこかないかということで私なりに調べてみたところなんですけども、今、梨の話が出ましたが、千葉は有名なんですね。私がちょっと探してみたのは、埼玉県の久喜市というところでも梨が特産品であるようなんですね。

ちょっとホームページを見てみたところ、梨カレーとかブランデーケーキとか、ソルベですか、そんなものも作って、生産量の問題もあると思うんですけど、参考になるのかなというふうに思いました。

久喜市は人口15万人ぐらいの自治体で、市と町が四つがくっついてできたところみたいで、ウォーキングマップとかサイクリングコースとかもやられているようなので、何かちょっと似てるなと思いついて興味を持ちましたので、御紹介させていただきました。

以上です。

○委員長（木下富雄君） ありがとうございます。

○委員（大川 元君） お話聞かせていただきまして、当市と近いという意味では、尾崎委員が言われた清瀬市が日帰りという意味では、非常に距離が近いかなというふうに思いました。また、特産品が同じものであるという意味においては、森田委員が言われた久喜市で、梨を使ってどういうふうにPRしているかということ視察に行くかなというふうに思ったんで、私としては、そのどちらかかなというふうには思うんですけども。

以上です。

○委員長（木下富雄君） ありがとうございます。

○委員（尾崎利一君） 私、今、言った清瀬市、見つけたのは3年前の豊洲市場で行った多摩の超文化祭というやつで、東大和もうまかんべえ〜祭グルメコンテスト第1位チーズたっぷり！！東大和カルツォーネ！！というので出しているみたいですけど、多摩の市町村が主催者になって、多摩初オリジナル御当地グルメ多摩産特産品の販売というのをやったという企画があったようで、そこに清瀬は蜂蜜が出たんですね。ビールが飲みたいから言うわけじゃないですけど、小平市は小平の名産品ブルーベリーを使ったビールとか、日野市は多摩地域最古の地ビールを復刻、豊田ビールとかというのが出ていて、2019年の企画ですけど、それぞれ多摩地域でいろいろ努力しているのが結集してきたのかなという感じで見たので、やはり同じ多摩地域で、さっき清瀬市を挙げましたが、今、挙げた小平もお隣ですし、日野なんかもうそう遠くないですし、いろいろ、同じ、東村山の黒焼きそばは有名ですけど、この近くの地域でいろいろ努力されているのを見るというのもいいのかな

とちょっと思いました。別に固執するわけじゃありませんけど、そういう経過でちょっと提案させていただいたということです。

○委員長（木下富雄君） ありがとうございます。

ただいま皆様から視察先についていろいろ御意見をいただきました。これらの御意見を基に、今後、正副委員長で協議の上、視察等を決めたいと思いますが、よろしいでしょうか。

それではお諮りいたします。

視察先、視察日時並びに具体的な調査事項につきましては、正副委員長に御一任いただき、後日、議長へ派遣承認要求書を提出したいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（木下富雄君） 御異議ないものと認め、さよう決めます。

お諮りいたします。

所管事務調査、東大和の特産品による産業の活性化についてにつきましては、本日はこの程度にとどめたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（木下富雄君） 御異議ないものと認め、さよう決めます。

---

○委員長（木下富雄君） これをもって、令和4年第3回東大和市議会建設環境委員会を散会いたします。

午前10時42分 散会

東大和市議会委員会条例第30条第1項の規定により、ここに署名する。

委 員 長 木 下 富 雄